

エコアクション21

【環境経営レポート】

第 2 版

《 対象期間：令和 5 年 2 月～ 令和 6 年 1 月 》



HIRANO
ENGINEERING WORKS

株式
会社

平野工務店

発行：令和 6 年 3 月 29 日



環境省
エコアクション21
認証番号 0014041

代表者挨拶

当社は1977年創立以来、瀬戸内海に面した大分県別府市で緑豊かな山々や高原と波静かな別府湾に囲まれ、大地から立ちのぼる湯けむりの自然エネルギーの中で、建設業を営んで参りました。建築を中心とした特定建設工事を手掛ける企業として、公共施設、商業施設、一般住宅、マンションなど暮らしにかかわり、地域社会の発展、社会資本整備を担って参りました。

当社のモットーである、「末永くおつきあい」を基本に家づくりに取り組み建築完成後のメンテナンスやその後のコミュニケーションを大切に、いつまでもお客様に寄り添い、地域にはなくてはならない会社であることを使命としています。

昔も今も、目指すのは「人と地域」の融和であり、社会と環境は後継に引き継ぐ大切な資産です。変化の時代に対応し、私達は建築に携わる感動を求め、進化する技術・環境保全・省エネ・社会変化にも柔軟に応えていきたいです。

何より原点である、人への優しさという視点で、すべてのお客様へ思いを込め、建築技術をもって人々が求める社会づくりに貢献していきたいと考えています。

エコアクション21への取組は2011年7月に認証登録し、本年9月で12年2ヵ月を経過、これまでの取り組み効果としては、以下の点が挙げられます。

- ①CO2排出量削減をもたらしています。燃料使用量、電気使用量及び水使用量等資源の節約が実際にデータとして確認されています。生産性が向上し、かつ経費の削減となっています。
- ②環境に配慮した取り組み、創意工夫した取り組みとして自転車運転が実施され社員の節約の意識が根付いている事がうかがえます。
- ③社員全員での取り組みにより、環境への意識が高まり一体感が創出されています。
- ④地域での清掃活動、環境活動や環境団体への支援により、企業として社会貢献をさせていただいております。
- ⑤社員の家族を含め、環境への取り組みが行われています。
- ⑥持続可能な開発目標の達成に向けて、SDGs活動に新しく取り組んでいます。

これからもSDGsの社内目標定着に向けて、環境に配慮した建設事業の実現を目指して、より一層エコアクション21に継続して取り組むこととします。

2024年
株式会社 平野工務店
代表取締役 平野 英壽

目 次

1. 組織概要	・ ・ ・ ・ ・	P1
2. 環境経営方針	・ ・ ・ ・ ・	P2
SDGs宣言	・ ・ ・ ・ ・	P3
3. 実施体制	・ ・ ・ ・ ・	P4
4. 環境経営目標	・ ・ ・ ・ ・	P5
5. 環境経営計画	・ ・ ・ ・ ・	P6
6. 環境経営目標の実績と評価	・ ・ ・ ・ ・	P7、8
7. 会社内での取り組み	・ ・ ・ ・ ・	P9
8. 環境関連法規の遵守	・ ・ ・ ・ ・	P10
9. 代表者による全体評価と見直し結果	・ ・ ・ ・ ・	P11

1. 組織概要

1. 事業所名及び代表者

会社名 株式会社 平野工務店
代表者 代表取締役 平野 英壽
設立 昭和52年2月28日
資本金 4,000万円

2. 所在地

本社 〒874-0919 大分県別府市石垣東8丁目2番17号
倉庫 同上

3. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 本城 美代子
事務局 佐藤 奏
連絡先 電話 0977-21-0766
FAX 0977-21-4812
mail hiranokoumutensoumu@hira-ko.jp

4. 主な事業内容

建築工事業(大分県知事許可(特-2)第3687号)

5. 事業規模

*人数、台数、面積は、各期末時点

	単位	令和5年7月期	令和4年7月期	令和3年7月期
売上高	百万円	1,336	2,541	1,686
従業員数	人	27人	26人	26人
保有車両	台	28台	27台	27台
延床面積	m ²	300m ²	300m ²	300m ²

6. 事業年度

8月～7月

7. 環境経営の対象範囲

全組織、全事業活動



【対象範囲(認証・登録範囲)】

株式会社 平野工務店(全組織・全活動・全従業員)

【対象事業所】

本 社： 〒874-0919 大分県別府市石垣東8丁目2番17号

【事業活動】

建築工事業

【環境経営レポート対象期間】

2023年2月～2024年1月

【環境経営レポート発行日】

2024年3月29日

【次回環境経営レポート発行予定日】

2025年3月頃

【作成責任者】

環境管理責任者 本城 美代子

2. 環境経営方針

【環境理念】

私たち株式会社平野工務店は地域環境の保全とその承継の重要性を認識し、地域固有のものから地球規模に至るものまで数多くの環境問題が存在し、それらが複雑に絡み合い深刻化する中で、建設業としての事業活動を通して、環境負荷の低減、環境経営の取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【基本方針】

1. 環境関連法規則、当社が約束したことを遵守します。
2. 現場、事務所における環境負荷を削減します。
 - ・車両燃料削減
 - ・電力使用量の削減
 - ・廃棄物発生量の削減及びリサイクル
 - ・水使用量の削減
3. 環境に貢献する施工方法と製品の採用に努めます。
4. 環境経営方針を社員全員に周知徹底します。
5. 一人ひとりの意識を高め、社員全員で環境経営の継続改善に努めます。

制定日：令和 5 年 4 月 1 日

株式会社 平野工務店

代表取締役 平野 英壽



株式会社平野工務店SDGs宣言

当社は国連が提唱する国際目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、本業を通じ、積極的な取り組みにより持続可能な社会の実現に貢献します。

株式会社平野工務店SDGs宣言書

当社のSDGsへの取組

快適安心な居住環境



【主な取組み】 持続的改善による品質の維持向上

地震エネルギー吸収システム(GVA)導入による住まいの耐震化

年齢や施工場所の特性に応じた施工方法の提案

きめ細かいアフターサービスによる長く住める住宅の提供

環境へ配慮した事業活動



【主な取組み】 エコアクション21に則った環境活動の推進

協力業者と連携した廃棄物の削減とリサイクル率の向上

エコドライブ10の推奨と全社員のガソリン使用量開示による排気ガス削減意識の徹底

住まいの高断熱・高気密・太陽光発電の推奨による省エネ住宅の提案

地元の発展への貢献



【主な取組み】 地元人材の積極採用、地元企業への積極発注

地域清掃活動や行事へ積極参加等による地域貢献活動

地元自治体等との災害協定による地域貢献

公共工事の受注と施工によるインフラ整備への貢献

「男女共同参画社会づくり宣言」を適用し、働きがいのある職場の構築

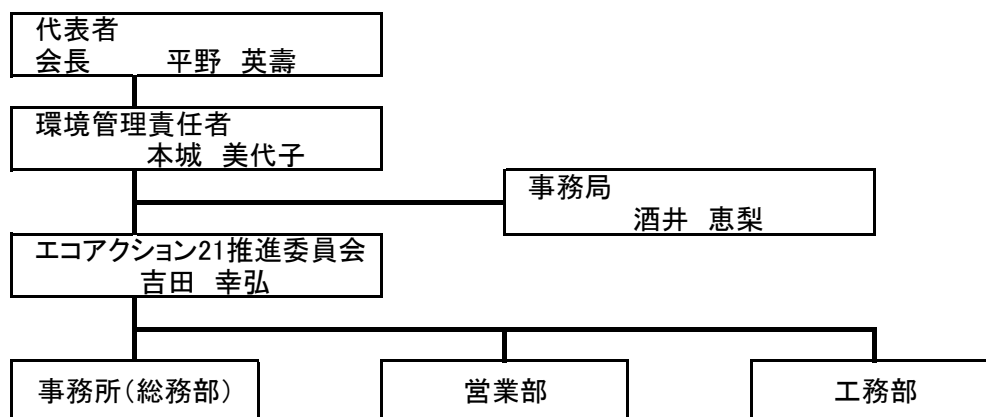


3. 実施体制

作成日：令和5年3月10日

更新日：令和6年1月15日

環境経営組織図



エコアクション21に関する役割と責任及び権限

区分	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ・環境管理責任者を任命する ・経営における課題とチャンスを確認にする ・環境経営方針を策定（更新）する ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体評価及び目標見直し指示を実施する ・環境経営レポートを承認する
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会を統括する ・環境関連法規等のとりまとめ表及び遵守評価結果を承認する ・各部門の環境経営目標、環境経営計画、実施体制を承認する ・環境上の緊急事態を特定し、対応策を承認する ・問題点に対する是正処置、再発予防処置を承認し、結果を評価する ・環境経営レポートを確認する
事務局	・環境管理責任者を補佐する ・エコアクション21推進委員会の事務局を兼ねる ・環境関連文書類を作成及び管理する ・環境経営に関する目標や実績をとりまとめる ・外部コミュニケーションに関する受付窓口を担当する ・環境経営レポートを作成する
エコアクション21推進委員会	・環境経営目標、環境経営計画を共有する ・効果的な活動を推進するため、部門間の連携を図る ・環境活動に関する取組状況や課題を報告、共有する ・環境教育、環境コミュニケーションを計画、実施する
部門長	・自部門の環境経営目標、環境経営計画を作成し、取組み推進する ・自部門の環境経営システム運用状況を、推進委員会に報告する ・自部門の活動に必要な手順書を作成、管理する ・自部門の問題点を抽出し、是正、予防処置を実施する
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などを理解し、自らの役割を認識する ・環境活動に自主的、積極局的に参加し、改善提案に努める

4. 環境経営目標

対象期間:2月～翌年1月

環境方針 番号	環境目標	場所	単位	R4年度実績 (基準年度)	R5年度実績目標		R6年度実績目標		R7年度実績目標	
				基準年度	目標	削減率	目標	削減率	目標	削減率
1	二酸化炭素排出量削減	会社全体	kg/CO2	87,396	86,522	1%	85,648	2%	84,774	3%
1-1	電力消費量削減	事務所	kwh	16,269	16,106	1%	15,944	2%	15,781	3%
		現場		35,058	34,707	1%	34,357	2%	34,006	3%
1-2	ガソリン消費量削減	会社全体	L	26,872.20	26603.478	1%	26,334.76	2%	26,066.03	3%
1-3	軽油消費量削減	会社全体	L	2,050.95	2,030.44	1%	2,009.93	2%	1,989.42	3%
2	廃棄物排出量削減	事務所	袋	140	138.6	1%	137.2	2%	135.8	3%
		現場	kg	3,563,381	3,527,747	1%	3,492,113	2%	3,456,480	3%
3	水使用量削減	会社全体	m3	144	142.56	1%	141.12	2%	139.68	3%
4	コピー用紙使用量の削減	事務所	枚	200,000	198,000	1%	196,000	2%	194,000	3%
5	環境にやさしい 施工方法の実施	—	—	環境経営による実施監理						
6	ZEH実施	—	—	環境経営による実施管理						

電気のCO2排出係数は、九州電力の2021年度調整後排出係数0.385kg-CO2/kWhを使用する。

5. 環境経営計画

環境方針 番号	課 題	活 動 内 容	評価
1-1	電力消費量削減	1. 社員がいない部屋の電気消灯	◎
		2. 昼休みの電気消灯	◎
		3. 空調温度の徹底(冷房26～28℃程度、暖房20～22℃程度)	◎
		4. 節電表示による周知	◎
1-2	ガソリン消費量削減	1. 始動時の長時間アイドリングは止める	○
		2. タイヤの空気圧をこまめに点検する	◎
		3. 運転方法の工夫(ふかし運転をしない)	○
		4. ハイブリット車を増やした(社用車)	◎
1-3	軽油消費量削減	1. 始動時の長時間アイドリングは止める	○
		2. 作業者の不使用時電源オフ	◎
		3. タイヤの空気圧をこまめに点検する	◎
2	廃棄物排出量削減	1. ゴミ袋は薄いものを使用	◎
		2. コーヒーカップは洗って再利用	△
		3. ツーリングファイルの再利用	◎
		4. ゴミ分別の徹底	◎
3	水使用量削減	1. 節水表示による周知	◎
		2. 流しっぱなしにしない	◎
		3. 漏水点検を定期的に行う	○
		4. 有機汚染物質を流さないように生ごみを分別する	◎
4	コピー用紙使用量の削減	1. 裏紙の使用	◎
		2. 集約印刷をする	○
		3. 両面印刷をする	◎
		4. 社内資料は白黒印刷	◎
5	環境にやさしい 施工方法の実施	1. CO2排出量の削減	◎
		2. グリーン調達	○
		3. 環境配慮設計の推進	○
6	ZEH実施	1. 再生可能エネルギーのシステム導入	○
		2. ZEH住宅の推進(ご案内)	◎
		3. 省エネ設備の導入	○

結果の記載 : 達成=◎または○(一部課題あり) 未達成=×または△(一部成果あり)

評価は試行期間の実績と環境活動計画の実施状況を対象に事務局で記載する

その際、「×」の活動は「問題点」として取り上げ予防・是正処置を講じる

6.環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容

対象期間:令和5年度(令和5年2月～令和6年1月)

評価基準:○100%以上 △80%以上100%未満 ×80%未満(是正処置の対象)

番号	選択課題	基準年度 令和4年度	R5年度目標 基準年度比 △1%	R5年度 実績	目標 達成率	評価
1	二酸化炭素排出量 (CO2排出量) kg-CO2	87,396	86,522	72,683	119%	○
評価と 次年度の取組 内容	①達成 ②目標を下回ることが出来たので良かった ③これからも続けていきたい					
1-1	電力消費量 (電気使用量) kWh 事務所	16,269	16,106	15,954	101%	○
評価と 次年度の取組 内容	①達成 ②張り紙での声掛け、お昼休憩時の節電、エアコンは常に25度を保つことができた ③古いエアコンを新しく買い替える、不要な電気はこまめに消す、パソコンの電源は切ってから帰る					
1-1	電力消費量 (電気使用量) kWh 現場	35,058	34,707	34,415	101%	○
評価と 次年度の取組 内容	①達成 ②監督さんへ常に節電の声掛け、節電の張り紙が徹底できた ③これまで以上に節電を心掛ける					
1-2	ガソリン消費量 (ガソリン使用量) ℓ	26,872	26,603	22,273	119%	○
評価と 次年度の取組 内容	①達成 ②ハイブリッド車を推奨して乗る、古くて燃費の悪い車は廃車にした為 ③今後は一層ハイブリット車を増やし低燃費でこれまで以上にガソリン代を抑える。					
1-3	軽油消費量 (軽油使用量) ℓ	2,051	2,030	608	334%	○
評価と 次年度の取組 内容	①達成 ②定期的に車やタイヤの空気圧の点検をした、走行距離を減らした、必要な分だけ荷物を載せた、走行距離を記載した為 ③今後も定期的に車やタイヤの点検を心掛ける					
2	産業廃棄物排出量 (廃棄物排出量) t	3,563,381	3,527,747	3,323,476	106%	○
評価と 次年度の取組 内容	①達成 ②現場数によって変動はあるが、ゴミの分別がしっかりと行われた ③今後もゴミの分別を徹底する					
3	一般廃棄物排出量	140	169	141	120%	○
評価と 次年度の取組 内容	①達成 ②現場から持って帰った廃棄物の分別、裏紙を利用した、詰め替えのものを使用した ③今後もゴミの分別を徹底する、なるべくゴミを出さないように再利用できるものは再利用する					
3	水使用量 (水使用量) m³	144	143	245	58%	×
評価と 次年度の取組 内容	①未達成 ②大規模の現場があったため使用量が増えた、意識が足りなかった ③張り紙だけでなく、朝礼等の集会で声掛けを徹底する					
4	コピー使用量の削減 枚	200,000	198,000	210,000	94%	△
評価と 次年度の取組 内容	①未達成 ②無駄にコピー用紙を使用した、メールで送らずFAXを使用した ③ペーパーレス化の推進、裏紙を利用する、1枚にまとめて印刷する					
5	環境にやさしい 施工方法の実施		実施する	実施した	100%	○
評価と 次年度の取組 内容	①達成 ②3Rを意識して施工できた為 ③このまま意識を高めていきたい					
6	ZEH実施		実施する	実施なし	0%	×
評価と 次年度の取組 内容	①未達成 ②ZEHの営業、宣伝不足 ③ZEHを知ってもらえるように、インスタなどSNSで宣伝する					

電気のCO2排出係数は、九州電力の2021年度調整後排出係数0.385kg-CO2/kWhを使用する。

取組の実績

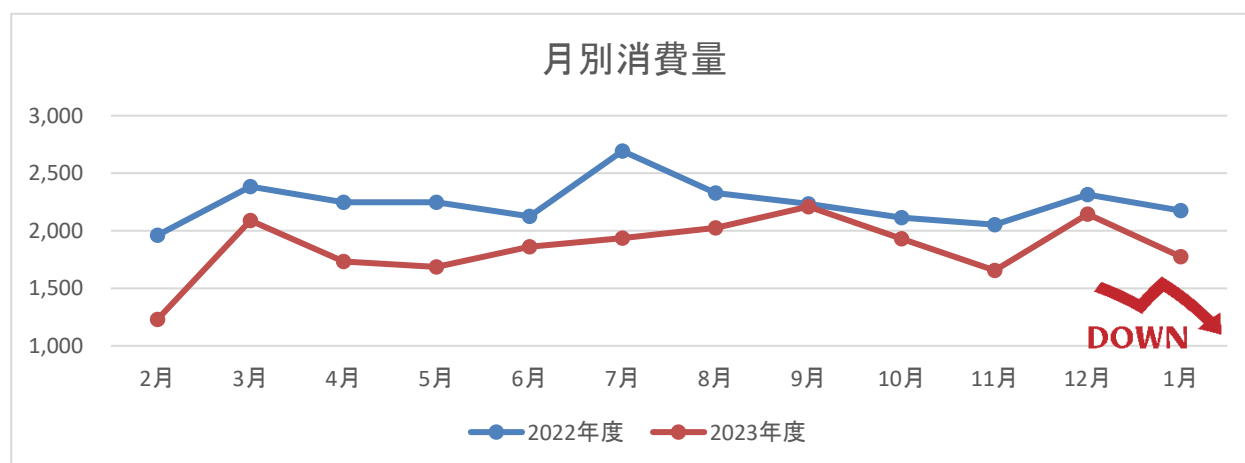
●二酸化炭素排出量(CO²)の削減

ガソリン使用量の削減



【ガソリン】

月別消費量	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
2022年度	1,961	2,383	2,246	2,247	2,125	2,693	2,329	2,232	2,113	2,052	2,315	2,175	26,872
2023年度	1,229	2,089	1,733	1,686	1,861	1,937	2,026	2,210	1,929	1,654	2,145	1,775	22,273

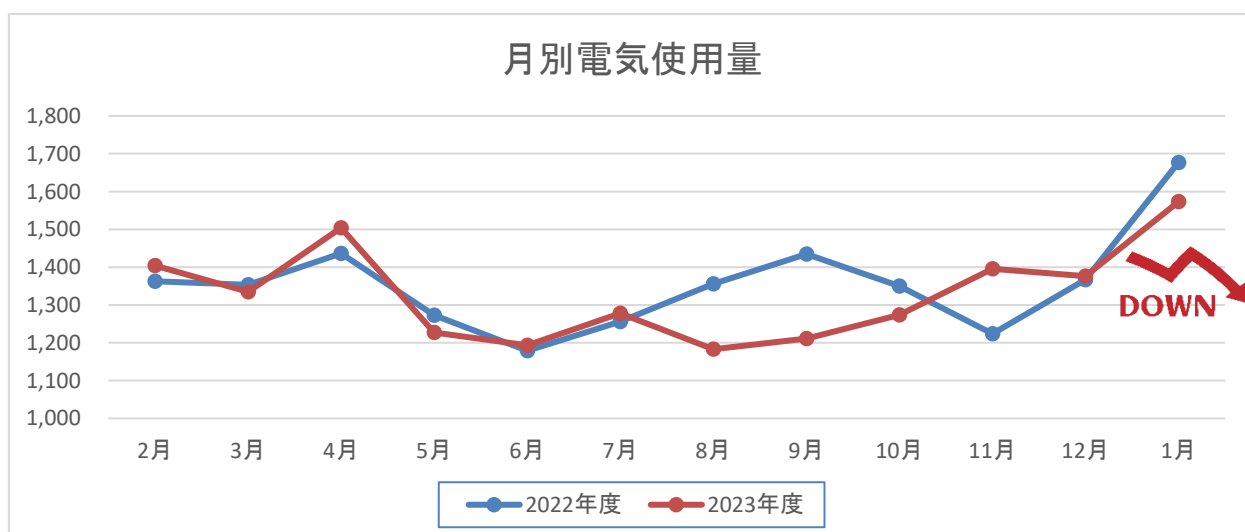


電力使用量の削減



【電気使用量】

月別消費量	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
2022年度	1,363	1,353	1,436	1,273	1,179	1,256	1,356	1,435	1,350	1,224	1,367	1,677	16,269
2023年度	1,404	1,335	1,504	1,227	1,193	1,278	1,183	1,211	1,274	1,396	1,376	1,573	15,954



7.会社での取り組み

◎ 節 電



◎ 節 水



◎ グリーンカーテンによる節電の実施



◎ AEDの設置



◎ タイヤ空気圧の定期確認



◎ 朝の清掃の様子



7.会社での取り組み

自動車燃料の削減↓



←洗車時の節水を徹底

7.会社での取り組み

廃棄物削減の取り組み→



←昼食時の節電の為に
グリーンカーテンでの休憩



7.会社での取り組み



↑
←資源ごみの分別



現場エコパトロール→

←社員のエコへ
対する取組



地域に寄り添う清掃→



7. 会社での取り組み

携帯用冷却パックの使用



7. 会社での取り組み



↑ 熱中症対策



← 従業員への
報告

8. 環境関連法規

遵守評価日: 令和6年2月10日

法規名	遵守事項	評価
廃棄物処理法	委託契約の締結	遵守
	マニフェストの交付、保管	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	遵守
	表示板の設置	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	工事完了後発注者への報告	遵守
	建設業許可票の看板掲示	遵守
騒音規制法	届出書・記載項目の確認	遵守
振動規制法	届出書・記載項目の確認	遵守
フロン排出抑制法	3か月に1回業務用エアコンの簡易点検	遵守

※関連法規などに違反、関連機関からの指導、訴訟はありませんでした

12. 代表者による全体評価と見直し結果

評価対象の期間	2023 年 2 月 ～ 2024 年 1 月		
見直し実施日時	2024 年 2 月 21 日（水） 10 時～	場所	本社事務所
出席者	代表者 平野 英壽 環境管理責任者 事務局		

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	意識が出来てきた	このまま続けて意識していきたい
2 環境経営目標の達成状況	達成できていた項目が増えたので良かった	現場数により変動はあるが達成できている事が多かった
3 環境経営計画の実施状況	計画を立てることで一人ひとりが何に取り組めばいいかわかってきた	計画の見直しも必要だと感じた
4 問題点の是正、予防の状況	問題点は特になかった	問題点は特になかった
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	苦情等は特になかった	苦情等は特になかった
6 環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	訓練は定期的にすることが大切だと感じた	訓練のマニュアルの作成を来年作りたいと思った
7 その他	特になし	特になし

代表者の見直しの指示内容判断と	①環境経営方針	継続する
	②環境経営目標	ZEH実施の目標変更が必要
	③環境経営計画	継続する
	④実施体制	継続する
	その他、環境経営システムの円滑な運用を維持するために必要な、見直し、留意ポイントの指示	ZEH実施の目標内容をもう少し取り組みを交えた内容へ変更し積極的にZEH実施を行いたい